

家事經濟論

藤田久道編述

一

78
3522
1



門 78
號 3522
卷 1

藤田久道 編述

家事經濟論



版權
免許

教科書房

冊 二
號 九
函 十

家事經濟論

凡例

一 本編ハ小學校教則綱領ノ順序ニ
 經檢ヲ參酌シテ家事經濟ノ要ヲ論スルモノ
 ナリ然レドモ務メテ日用適切ナル事項ヲ列
 序シ實際ニ迂遠ナル高尚ノ理論ニ涉ラズ益
 シ微意ノ存スル所アリテ然ルナリ

一 本編ハ惣テ讀ミ易キ文字解シ易キ語法ヲ用
 ルト雖モ亦鄙野ニ涉ラズ俚俗ニ流レザルヲ
 主トセリ益シ學校ノ教本ニ備フルノミナラ



經 濟 論 卷 一 凡 例 教 科 書 房

不併セテ一家ヲ理ムルモノ、参考ニ充テント欲セバナリ

一本編每章皆之ヲ實際ニ施スコトヲ得ベシ一
モ無用ノ空論ヲ掲ケズ讀者幸ニ全編ヲ熟讀
シ以テ之ヲ實際ニ施シ家計常ニ餘裕ヲ生シ
テ雍々タル和氣室家ヲ遶ルニ至レバ編者ノ
欣喜何事カ之ニ如カン

明治十五年一月

編者誌

家事經濟論目錄

卷之一

- 第一章 總論
- 第二章 衣服
- 第三章 裁縫
- 第四章 洗濯
- 第五章 住居
- 第六章 什器
- 第七章 飲食

卷之二

第八章

割烹

炊方 煮方 炙方 煎熬方

油煮方 羹方 鱠方 蒸方

軒方 醬方 漬物方 物軟煮

塩魚調理 干魚調理 調理雜件

第九章

理髮

第十章

金錢出納

出納帳 精算帳 雜費帳 財産帳

第十一章

婢僕

家事經濟論目錄終

家事經濟論卷之一

藤田久道 編述

第一章 總論

凡ソ人タルモノハ男女ヲ論セズ成人ノ後チハ
一家ノ主人トナリテ必ズ一家ヲ經營スルノ責
任ヲ負フモノナリ故ニ幼穉ノ時ニ於テ其經營
スルノ道ヲ講究シ成人ノ後チハ之ヲ實際ニ施
シ家裡ヲ治メ家産ヲ富シ幸福ヲ子孫ニ遺サバ
ルベカラズ

何ヲカ一家ヲ經營スルノ道ト謂フヤ家事ヲ理ムル是ナリ家事ヲ理ムルトハ其子ヲ教育スルハ勿論日常他家トノ交際、婢僕ノ取扱ヨリ以テ衣食住ノ需用、金錢ノ出納ニ至ルマデ一切ノ家務ヲ宰理監督スルヲ云フ是レ主人タルモノ、必ス取ルベキノ業務ナリ

家事ヲ理ムルニハ男女トモニ相應ノ學術ナカ
ルベカラズ無學無能ニテハ一家ヲ理メ難シ然
レドモ女子ハ男子ノ如キ至難ノ學術ヲ學バン
ヨリハ寧ロ女子普通ノ諸藝術ヲ修メ殊ニ日常

必用ナル手紙請取ノ書方、金銀出納ノ算用、帳簿
ノ記載法、衣服ノ裁縫、飲食ノ調理、洗濯、理髮ニ至
ルマデ其家事ニ緊要ナル經濟法ヲ習フベキナ
リ
一家ヲ理ムルハ夫妻共ニ之ヲ掌ルベシト雖モ
婦妻ハ專ラ内ヲ理メザルベカラズ然レドモ
大事ハ萬事夫ノ指揮ヲ仰クベシ若シ婦妻タル
者家事ヲ放擲シ却テ夫ノ取ルベキ業務ニノミ
従事スルトキハ是ガ爲メ貧困ヲ招クニ至ルコ
トアリ

試ニ婦妻ノ家事ヲ放擲スルモノ、住居ヲ見ル
 ベシ臺所ハ常ニ惡臭アリテ所々ニ蟲ヲ生ジ塵
 芥ハ庭隅ニ堆積シテ將ニ腐敗セントス家族ノ
 衣服ハ汚穢ニシテ其破綻ヲ表ハシ鐵器ハ銹ヲ
 生ジテ其用ヲ爲スベカラズ其他食物ノ保藏ヲ
 怠リテ器物ヲ猫鼠ニ破損セララル、ガ如キ一ト
 シテ不經濟ナラザルコトナシ如斯ニシテ能ク其
 家ノ富盛ニ趣クノ理アラシヤ
 一家ノ富盛ニ至ルト貧困ニ陥ルトハ多クハ主
 人タルモノ家事ノ經濟其宜キヲ得ルト得ザル

トニ因ルモノナリ如何トナレバ男子外ニ出テ
 テ若干ノ金錢ヲ利得スルモ婦女内ニ在テ浪リ
 ニ之ヲ消費スルトキハ家計忽チ欠乏ヲ告ルニ
 至ルベシ若シ緩急ヲ圖リ出納ヲ慎ミ冗費ヲ省
 キ務テ節儉ヲ行フトキハ家計次第ニ餘贏ヲ生
 ズベシ是レ富有貧困ノ差異ヲ生ズル所以ナリ
 左レバ家ノ貧富盛衰ハ婦妻ノ關スル所最モ多
 キニ居ルモノト謂フベシ
 一家ノ經濟トハ只金錢ニ餘贏ヲ生ゼシメント
 欲スルハ謂フニアラス徒ニ光陰ヲ過サズ

無益ノ冗費ヲ省キ無用ヲ轉ジテ有用トナシ他人ノ多ク金錢ヲ費スコトモ僅少ノ金錢ヲ費シテ成就スルヲ謂フ決シテ利欲ニ耽リ私情ヲ縦ニシテ金錢ヲ増殖スルノ謂ニアラズ彼巨萬ノ財産ヲ有テル人モ最初ヨリシテ富有ナルニアラズ萬事ニ心ヲ用ヒ經濟ノ方其宜キヲ得タルノ結果ナリ

家事ノ經濟ヲ爲スニハ儉約ト吝嗇トノ分別ヲ明カニスベシ世人徃々之ヲ誤リ義理人情ニモ抱ハズ交際上止ムベカラザル禮物モ之ヲ贈

ラズ人ニ惠與スベキ者モ之ヲ惠與セズ一管金錢ヲ畜積スルコトニ汲々タルモノアリ是レ吝嗇ニシテ儉約ニアラザルナリ吝嗇ナルモノハ人之ヲ疎ジ斥ケテ遠クベシ人ニ遠ク斥ケラルトトキハ僅少ノ金錢ニ代ヘ難キ損失ヲ醸スコトアリ主人タル者能之ニ注意スベシ

儉約トハ唯金錢ヲ費サバルノミヲ謂フニアラズ金錢ヲ費シテ却テ儉約ニナルコトアリ屋上一滴ノ雨漏モ小費ヲ吝ミテ速ニ修補ヲ加ヘザル時ハ終ニ大破ニ及ビテ幾倍ノ費用ヲ増スベ

經濟論 卷之一 四 教育書房

ク家族一朝ノ微患モ早ク醫師ノ診察ヲ受ケザ
ルトキハ終ニ大患ニ陥リ莫大ノ費用ヲ要スル
ニ至ルベシ是等ハ所謂一錢ヲ吝ンデ百錢ヲ失
フモノニシテ真ノ儉約法ヲ知ラザルモノナリ
現ニ金錢ヲ浪費スルノ不經濟タルコトハ人ノ
能ル所ナレドモ日常家事ヲ取扱フ上ニ於テ
暗ニ多額ノ金錢ヲ損失スルノ不經濟タルコト
ヲ知ル者少ナシ今其中ニ就キテ最モ不經濟ノ
事項ヲ左ニ列序スベシ宜シク省察ヲ加フベキ
ナリ

○怠惰ニシテ職業ヲ勵マザル事

人ハ勞動シテ食衣住ヲ得ベキモノナリ然
ルニ正業ヲ營マズシテ期スベカラザルノ
非利ヲ僥倖シ或ハ祖先ヨリノ財産ニ依頼
シテ職業ヲ務メズ或ハ職業ニ従事スルト
雖モ緩慢ニシテ勉強セザルハ是レ不經濟
ノ最大ナルモノニシテ到底富有ヲ保ツコ
ト能ハザルナリ如何トナレバ仮令僥倖ニ
シテ一時利潤ヲ得ルコトアルモ是レ源ナ
キ水ノ如シ暫時ニシテ乾涸スベシ又若干

ノ財産ニ依頼スルモ財産ハ身外ノモノナ
 リ一朝災害ニ遇フ片ハ之ヲ失フコトアリ
 又職業ニ従事スルトモ勉強セザレバ利潤
 ヲ得ルコト少ナク僅ニ其日ノ飲食ニ充ツ
 ルニ過ギザレバナリ

○遊樂ヲ爲スニ制限ナキ事

人生ノ此世ニアル樂ミアレバコソ苦ミモ
 爲スコトナリ左レバ勞苦シテ餘分ノ利潤
 ヲ得タルトキハ餘暇ニ於テ應分ノ樂ミヲ
 爲スモ可ナリ然ルトキハ積鬱ヲ散ジ勞苦

○

ヲ慰シ更ニ勉勵ノ志ヲ増シ自ラ經濟法ニ
 稱フコトアリ然レドモ遊樂ニノミ偏シテ
 制限ナク金錢ノ多寡前後ノ緩急ヲ顧ミズ
 シテ濫リニ遊樂ニ流ル、トキハ其遊樂ハ
 宛モ夢ノ如ク更ニ數倍ノ辛苦ヲ増シ家産
 忽チ空乏ヲ告ルニ至ルベシ故ニ遊樂ヲ爲
 スニハ一定ノ制限ヲ立テ奢リト樂ミトノ
 別ヲ知ルコト肝要ナリ

○家事ニ取締ナキ事

一家ヲ理ムルニハ一定ノ規則ヲ立テ己レ

經濟論 卷之一 六

先ヅ之ヲ守リ下_モ婢僕ニ至ルマデ之ヲ守ラ
 シムベシ今其一ニヲ舉レバ就眠晨起ノ時
 刻ヲ定メ巳ム_{コト}ヲ得ザル要用アルニアラ
 ザレバ必ズ其時刻ニ差フベカラズ又三度
 ノ調膳モ其身代ヲ顧ミテ食物ヲ撰ビ嗜欲
 ヲ縱ニシテ美味ニ飽クベカラズ衣服ハ常
 衣ト盛衣トヲ別チ混用スベカラズ若シ此
 等ノ嚴則ナキトキハ百般ノ家事終ニ亂レ
 貧乏ヲ招クニ至ルベシ

○納ルヲ計リテ出スヲ制セザル事

一家ノ經濟ハ其入ル所ノ金額ニ應ジテ其
 出費ヲ定ムベシ若シ出ス所ノ金額入ル所
 ノ金額ヨリ超過スルトキハ家計漸ク欠乏
 シテ終始富有ニ至ルノ期ナシ然ルニ世間
 ノ婦女多クハ茲ニ着目セズ精算ノ時ニ及
 ンデ遽ニ迷惑スルモノアリ是レ益シ將ニ
 得ベクシテ未ダ全ク掌裡ニ容ラザル金錢
 ヲ豫期シ或ハ他日ノ勞動ヲ以テ失費ヲ補
 ハント欲スルヨリ起ルモノ多シ慎シムベ
 キナリ

○粗漏ニシテ不注意ナル事

金錢ヲ浪費スルハ直接ニ痛苦ヲ覺ユルヲ以テ明ラカニ其不經濟タルコトヲ知ルト雖モ粗漏不注意ノ最モ不經濟タルコトヲ知ル者少ナシ例ヘバ買物ノ請取書ヲ確ト認メズシテ仕拂ヒヲ誤リ衣服ヲ製スルニ當リテ其裁方ヲ誤ルガ如キハ是レ粗漏ヨリ生ズル所ノ損失ナリ食物ヲ過分ニ調理シテ空シク腐敗セシメ門扉墻塼ノ戒心ヲ懈リテ盜難ニ遇フガ如キハ是不注意ヨリ

生スル所ノ損失ナリ

○吟味セズシテ用品ヲ買フ事

絹布綿布ニハ其類許多ニシテ或ハ本場アリ偽造アリ罍物モ同物ニシテ堅固ナルモノト脆弱ナルモノトアリ食物モ同種中新シクシテ味美ナルモノト舊クシテ腐敗シ易キモノトアリ薪炭ハ其木質ト製造ニヨリテ長ク燃ルモノト忽チ燼滅スルモノトアリ故ニ用品ヲ買フニハ能ク吟味シテ之ヲ求ムベシ殊ニ此等ハ日用欠クベカラザ

ルモノナレバ積ンデ久シキニ至レバ其不
經濟ナルコト一時ノ浪費ヨリモ甚シ

○貯金ノ保存ニ迂憫ナル事

少シク家計ニ餘裕ヲ生ズルトキハ確實ノ
事ニヨリテ尚利子ヲ生ゼシムベシ然レド
モ確實ナラザル事ニハ容易ニ之ヲ出スベ
カラズ確實ナラザル事ハ一時利益ヲ得ル
コト多キガ如シト雖モ甚ダ危険ナリ之ヲ
筐底ニ秘藏スルノ優レルニ如カズ假令利
益ヲ得ルコト少ナクトモ政府ノ貯金預所

ニ寄托買ルカ地所或ハ公債証書ニ交換ス
ルハ最モ安心ナリ利益多クトモ投機者ニ
○貸與シ或ハ世人ノ未ダ信用セザル商社ノ
株金ト爲シ或ハ熟練セザル事業ヲ起シ其
資本金ト爲スガ如キハ最モ不安心ナリ

○目的ナキ金錢ヲ借用スル事

職業ヲ營ミテ將來必ズ利益アリト期スベ
キ目的アルカ又ハ災害ニ罹リ一時ノ急ヲ
救ハンガ爲メ負債スルハ萬已ムヲ得ザル
コトナレドモ日常ノ飲食ヲ求ムルノ資ニ

充ントシ或ハ無益ノ衣服頭髮ノ粧具ヲ購
ハント欲シ其辨償ノ目的モナクシテ濫リ
ニ負債ヲ事トスルハ自ラ其肉ヲ食スルト
一般ナリ蓋シ世ニ負債ヲ為スヨリ人ノ心
志ヲ苦メ不愉快ナルモノハナシ若シ辨償
ノ期ヲ過ルトキハ利子嵩ミテ巨額ニ上リ
終ニ家産ヲ傾クルニ至ルベシ

○賒買ヲ為ス事

凡テ物品ハ現金ヲ以テ購求スベシ通帳ヲ
以テ賒買ヲ為スベカラズ賒買ハ一時便利

ナルガ如クナレドモ極メテ不便利ナルモ
ノナリ如何トナレバ現金ヲ以テ物品ヲ購
求セザルトキハ自ラ過多ノ物品ヲ買フノ
弊ヲ生ジ隨テ金額漸次ニ増加シ其期限ニ
至リテ巨額ノ金錢ヲ拂ハザルヲ得ズ又賒
買ハ必ず若干ノ利息ヲ其物品ノ價額ニ含
有シアルヲ以テ現金ニテ購フヨリハ多少
高價ナルモノナリ故ニ婦女ノ家事ヲ營ム
ニハ務テ現金ヲ以テ物品ヲ購ヒ姑息ノ賒
買ヲ為スベカラズ

○無益ノ飲食ヲ好ム事

常食ノ間ニ尚^ホ飲食スルハ極テ不經濟ナリ
然ルニ世間ノ人多クハ之ヲ慎マズ事ナキ
ニ酒宴ヲ開キ又ハ種々ノ食物ヲ購求シ或
ハ自ラ調理シテ食スルモノアリ此等ハ空
腹ヲ醫スル爲メニモアラズ健康ヲ保續ス
ルノ爲メニモアラズ金錢ヲ浪費スルコト
少カラザルナリ獨リ時間ト金錢ヲ浪費ス
ルノミナラズ終ニ習慣トナリ其時刻ニ至
リ飲食セザレバ心ニ満足セザルノ惡弊ヲ

貴^ク生ズルニ至ルベシ苦マシム

經濟家ノ説ニ自ラ大ナリトスル金錢物品ヲ儉
約セント思フヨリハ瑣末ナル金錢物品ヲ儉約
スルコト其効遙ニ愈レリト蓋シ瑣末ナル金錢
物品ハ人意ヲ留メザレバ不知不識シテ巨額ト
爲ルベク自ラ大ナリトスル金錢物品ハ必ズ恐
レテ徒費セザレバナリ
一家ヲ理ムルニ勉強、忍耐、節儉、親切、慈仁、柔和ハ
一モ闕クベカラザルモノニシテ最モ貴重ナル
財本ナリ何様一家ヲ理メ一家ヲ富サント欲ス

ルモ此六徳中一ヲ闕クトキハ決シテ一家ヲ理
ムルコト能ハズ況ンヤ一モ此六徳ヲ備ヘザル
ニ於テヲヤ
人ニ盛衰浮沉アルハ猶草木ノ榮枯消長アルガ
ゴトク假令富貴ニ居ルト雖モ不測ノ災害ニ遇
フコトアリ左レバ平常其用意ヲ爲シ非常ニ備
フベシ若シ不足ナキニ安ジ之ヲ思ハザルトキ
ハ一朝災害ニ遇フニ至リ昔日節儉セザリシコ
トヲ悔ルトモ已ニ及ブベカラズ故ニ身幸ニ富
貴ナルモ心ニ貧賤ノ辛苦ヲ忘レズ務テ冗費ヲ

省キ錢一厘米一粒タリトモ之ヲ忽ニスベカラ
ズ
婦女ハ常ニ内ニ在テ薪水ノ勞ヲ取ルヲ以テ若
シ經濟ノ道ニ疎ク貧困ニ陷ルトキハ其困苦ヲ
覺ユルコト夫ヨリモ甚シ然レトモ經濟其法ヲ
得テ一家ノ繁榮ニ趣クトキハ内助タルノ名ニ
恥テズ其樂ハ夫ヨリモ多シトス故ニ其苦樂ヲ
招クハ唯務ルト務メザルトニアリ
女子ハ綿密ニシテ能瑣細ノ事マデ注意スルノ
ミナラズ儉約ヲ行フベキコトモ亦多ク女子ノ

手ニアルガ故ニ經濟ノ主義節儉ノ方法ヲ熟知
スルキハ能之ヲ實地ニ行フコトヲ得ベシ
人儉約ヲ爲スニ偏シ慈善ノ心ヲ忘ルベカラズ
儉約ハ畢竟人々ノ身代ニ由テ異ナルモノニテ
貧人ニ在テハ巨費トスルモ富人ニ在テハ却テ
吝嗇ニ當ルコトアリ故ニ我身分ニ應ジ惠與ス
ベキコトニハ惠與スベシ若シ惠與スベキ理由
アルニ吝ンデ惠與セザルトキハ意外ノ損害ヲ
来スコトアリ

第二章 衣服

人々衣服ヲ着ルノ目的ハ寒熱ノ劇射ヲ防ギテ
身体ヲ保護スルニアリ決シテ外貌ヲ裝飾スル
ノ具ニアラザレバ其氣候ノ寒温ニ應ジテ適當
セル衣服ヲ製スベシ
衣服ニ製スベキ織物ニ數種アリト雖モ通例多
ク用ユルモノハ綿布、麻布、絹布、毛布トス綿布、麻布
ハ清涼ニシテ體温ヲ發洩シ易ケレバ氣候温暖
ナルトキハ之ヲ用ユルヲ宜シトス絹布、毛布ハ
緻密ニシテ能、體温ヲ保持スレバ氣候寒冷ナル
トキハ之ヲ用ユルヲ良トス就中綿布ハ寒暑ト

モ其用ニ適セリ
世人多クハ絹布ヲ貴ンデ綿布ヲ貴マズ殊ニ女
子ハ最モ絹布ヲ愛シテ綿布ヲ愛セズ然レドモ
綿布ハ温氣ヲ吸收スルコト速カニシテ之ヲ發
散スルコトモ亦速カナリ絹布ハ之ニ返シ温氣
ヲ吸收スルコト遅クシテ之ヲ發散スルコトモ
亦遲シ絹布ハ只其外見ノ美麗ナルト軟柔ニシ
テ肌膚ニ可ナルノミ其實用ノ効ニ至テハ綿布
ニ及バズ
麻布ハ濕氣ヲ吸收スルコト速カニシテ温氣ヲ

保持スルノ効ナシ之ヲ襯衣ニ用ユベカラズ毛
布ハ冷熱共ニ導カザレドモ其組織間ニ多少ノ
空氣ヲ含ムヲ以テ能ク体温ヲ保持スルノ効アリ
然レドモ身体ノ蒸發氣ヲ遮キリ速ニ發散セシ
メザルノ害アレバ平常ノ衣服ト爲スニ宜シカ
ラズ
直接ニ肌膚ヲ覆フベキ衣服ハ綿布及フランネ
ルヲ最良トスフランネルモ綿布ト同ジク能ク温
氣ヲ吸收シ又能ク温氣ヲ發散スルノ効アリ故ニ
小兒老人等ノ襯衣ハ特ニフランネルヲ宜シト

ス又夜具、蒲團ノ類ハ綿布、綿絮ヲ以テ製スルヲ
良トス。絹布及蠶糸ヲ以テ製シタルモノハ其實
用ニ適セザルコト。絹布ノ衣服ト同ジ
衣類ハ風土ニ從ヒ職業ニ應ジ其實用ト攝生ト
ニ適スルヲ肝要トス。我國舊様ノ家屋ニ坐卧ス
ル人ニシテ故ラニ西洋服ヲ着シ強テ痿痺ヲ忍
ブガ如キ又四肢ヲ勞動スル職業ヲ取ル人ニシ
テ和製ノ濶衣ヲ服スルガ如キハ皆經濟ノ要ヲ
知ラザルモノト謂フベシ。其賦類問ニ及ビシ
絹布、綿布ヲ買フニハ其正物ト偽物トヲ鑑定ス

ベシ殊ニ絹布ニハ偽物ニシテ幾ント正物ニ髣
髴タルモノアリ然レドモ其質ハ綿糸ヲ和シテ
製シタルモノアリ或ハ染色ノ法實ナラス久シ
カラズシテ剥落スルモノアリ綿布ハ絹布ノ如
ク甚シカラズト雖モ染色ニ於テハ亦真偽ノ異
同アリ且ツ綿ヲ加ヘテ組織セルモノハ永ク保
チ難シ
衣服ハ屢洗濯シテ污垢惡臭ヲ除クヲ要スベシ
污垢惡臭ヲ帶ブルノ衣服ヲ着クレバ啻ニ他人
ノ之ヲ嫌忌スルノミナラズ病根此ヨリ生ズベ

シ
衣服ヲ取扱フニハ最モ能ク注意スベシ粗畧ニス
ルトキハ意外ノ損失ヲ醸スコトアリ先ッ衣服ヲ
脱ギタル時直チニ之ヲ褶ムベカラズ然シ脱却
シタルマ、放棄シ置クモ惡シ宜ク柱又ハ懸竿
等ニ暫時掛置キテ空氣ヲ通シタル後チニ褶ム
ベシ而シテ襟又紋章ノ所ニ白紙ヲ挿ムベシ若
シ挿紙ヲ爲サザルトキハ其襟垢他ノ衣服ニ移
リテ色ヲ變ゼシメ又ハ紋章ニ汚點ヲ附スルコ
トアレバナリ

夏服ニ小皺ノ付キタルトキハ微細ノ水滴ヲ注
キ皺ヲ伸シテ掛棹ニ掛ケ而シテ後チ之ヲ褶ム
ベシ冬服ノ小皺ハ火熨斗ヲ當テ暫ク空氣ニ當
テタル後チ之ヲ褶ムベシ
衣類ハ桐製ノ箆筭若クハ長持ニ納レ毫モ濕氣
ノ来ラザル場所ヲ撰ビテ之ヲ置クベシ土藏ア
レバ階上ノ南方ニ置クヲ良トス衣服若シ濕氣
ヲ帶ルトキハ色ヲ變ジ或ハ汚點ヲ生ズルコト
アルベシ又盛衣ト常衣ト同一ニ置クベカラズ
汚臭ヲ傳移スルノミナラズ頗ル混雜ニシテ火

急ノ場合ニ甚ダ不便ナリ
衣服ハ其裾ヲ交互シ其間ニ縐絆羽織又ハ單物
等ヲ挿之ヲ藏メ置クベシ如斯スルトキハ襖
ノ壓ルコトナキヲ以テ皺折目ノ付クコトナシ
又帶或ハ足袋ノ類ハ必ズ衣服ト別チ置クベシ
夜具蒲團ノ類ハ其使用シタル後チ直チニ之ヲ
納ムベカラズ晨起ノトキハ先ツ窓戸ヲ開キ凡
ソ一時間空氣ニ觸レシメ汚塵ヲ拂ヒ去リタル
後チ之ヲ納ムベシ是レ終夜身體ヨリ蒸發シタ
ル温熱ヲ發散スル爲ナリ又少ナクトモ二週日

ニ一回ハ日光ニ曝シテ其濕氣ヲ除ルベシ然ラ
ザレバ汚塵ハ積ンデ綿絮ニ密着シ體熱ニ蒸サ
レテ一種不快ノ臭氣ヲ醸シ頗ル健康ニ害アル
ベシ
夜具蒲團ハ輕クシテ温キヲ要スベシ中綿ノ固
結シテ重キモノヲ用ユルトキハ其重量ニ壓サ
レテ快ク眠ラレザルコトアリ故ニ中綿ハ成ル
ベク新キ綿ヲ用ユルヲ良トス若シ古キ綿ヲ用
ユルトキハ先ツ之ヲ日光ニ曝シ而シテ其固結シタ
ルモノヲ解キ混入シタル塵埃ヲ除キテ之ヲ用ユベ

シ膏ニ其量ヲ減ズルノミナラズ自ラ健康ニ益アリ
衣類ハ絶ヘズ注意シテ之ヲ保存スベシ殊ニ日
常用中タル衣類ハ必ず洗濯シテ日光ニ曝シ其
破綻ヲ理シ置クベシ小袖類ニテ洗濯スルコト
能ハザルモノハ能_レ日光ニ曝シ柔ラカキ刷毛ニ
テ汚塵ヲ拂ヒ護領アルモノハ之ヲ脱シテ藏メ
置クベシ若シ之ヲ惜リ其儘藏ムルトキハ黴ヲ
生ジ色ヲ變ジ惡臭ヲ發シ質ヲ脆クシ且ツ惡臭
ヲシテ他ノ衣類ニ移スコトアルベシ然レドモ
洙色鮮明ナル絹布類ハ直チニ日光ニ曝スベカ

ラズ室内ニ於テ空氣ニ觸レシムルヲ良トス直
チニ日光ニ曝ストキハ色ヲ變ズルコトアリ
麻布ハ濕氣ヲ含ムコト絹布綿布ヨリモ速カナ
リ故ニ麻布ニテ製シタル蚊帳ハ凡ソ三日間日
々日光ニ曝シタル後チ汚塵ヲ拂ヒテ之ヲ藏ム
ベシ既ニ臭氣ノ發シタルモノハ之ヲ洗濯シ色
上ケヲ爲シ更ニ調製シテ之ヲ藏メ置クベシ
梅雨ノトキハ空氣中ニ多ク水分ヲ含ムヲ以テ
衣類自ラ濕氣ヲ帶ブルモノナリ故ニ梅雨ノ霽
レタル後チハ凡ソ三日間衣類ヲ乾燥シタル空

氣ニ觸レシメ其濕氣ヲ除ルベシ又水邊ニ住居
スル人ハ梅雨ノ候ヲ待タズ朗晴ノ日ヲ撰ビ度
々室内ニ於テ衣類ヲ乾スベシ如何トナレバ水
面ヨリ来ル風ハ多少水分ヲ含ムガ故ニ常ニ濕
氣ヲ衣類ニ傳ヘ黴ヲ生ズルコトアレバナリ
日常服スベキ衣服稍備ハレバ禮服ヲモ備フベ
シ蓋シ禮服ハ其身分ニ由リテ種々ノ差別アレ
ドモ通例男子ハ紋付ノ長着、紋付ノ丸羽織及半
袴ヲ用意シ女子ハ紋付ノ長着、白無垢、小袖、麻襦
袢、丸帶ヲ用意スベシ然ルトキハ自家ハ勿論親

戚知己等ニ吉凶ノ禮アルニ際シ禮義ヲ闕カザ
ルニ至ルベシ
第三章 裁縫
女子ノ職業中最モ肝要ナルモノハ裁縫ナリ貴
賤貧富ノ別ナク之ヲ學ブベシ若シ之ヲ知ラザ
ルトキハ獨リ其身ノ恥辱ノミナラズ一家ヲ理
ムルニ不便ナルコト實ニ言フベカラズ是レ學
校ニ裁縫科ノ設ケアル所以ナリ
衣服ノ裁方ハ男女ノ少長ニヨリテ一ツ身、三ツ
身、四ツ身、中裁、本裁、脊違、追送、逆衽、前襟裁、熨斗目

裁及大幅、小幅、本場、場違、伸縮等ノ別アリ又衣服ノ種類ニ裝束、袴、小袖、羽織、半纏、胴着、無袖、單物、帷子、襦袢、胴服、脚半、腹掛、股引、振袖、柄襦、被布、坐褥、潤袖、夜衾、蒲團、西洋服等アリ

衣類ヲ裁ツニハ先、其丈尺ヲ度リ、經緯裏表ヲ鑿別シ、紋附、模様物、縞柄、格好、片面物、等ニヨリ、身幅、両袖、襟、袂、衽、裙廻、同襟、袖口等ヲ見積リ、肩揚、腰揚、褙下、衽等ノ明キヲ考ヘ、定メ而シテ、後之ヲ裁切スベシ、一回裁チ誤ル片ハ復々如何トモスベカラズ、宜シク始メニ於テ意ヲ用ウベシ

機織、紡績モ女子ノ當ニ務ムベキモノナレバ、絹機、木綿機、紡績、養蠶ノ業ヲ修ムルヲ亦肝要ナリ衣服ヲ裁縫スルトキハ能ク將來ノ如何ヲ考ヘ無益ニナラザル様注意スベシ、若シ布片ノ殘ルヲアラバ之ヲ藏メ置クカ、或ハ襟裏等ニ縫ヒ込ミ置キテ他日補理スルノ用ニ充ツベシ凡ソ衣服ハ一方ノミ損ジ脆リ或ハ色ノ變ラザル時ニ之ヲ補フベシ、上前、下前、後前等ヲ入れ換ルヲ良トス、綻ナドハ、仮令ヒ小ナリトモ直ニ之ヲ繙縫スベシ、捨置クトキハ益大破ニ至ルノミ

ナラズ外見ノアシキ此ヨリ甚シキハナシ汚垢
又ハ綻破シタル衣服ヲ着クル兒童ヲ見バ其母
ノ懶惰知ルベキナリ

衣類ハ裁縫ノ功拙ニヨリテ利不利アルノミナ
ラズ大ニ着耦合ノ好否外見ノ美惡等アリ然レ
共裁縫ノ事タル手術ニ屬スルヲ以テ書籍ニ就
キテ其蘊奥ヲ知ルベカラズ故ニ宜ク良師ニ就
キ實地ニ之ヲ學ブヲ良トス

第四章 洗濯

衣服ハ美麗ナランヨリハ寧ロ清潔ナルヲ以テ

旨トスベシ汚垢ノ衣服ヲ久シク着スレバ只不
躰裁ナルノミナラズ體氣ノ蒸發ヲ阻碍スルヲ
以テ甚ダ健康ニ害アリ故ニ襦袢ノ如キ肉體ニ
直接スルモノハ度々洗濯スベシ家内ニ汚衣ヲ
着ル者アルハ是レ其主婦ノ罪ナリトス

衣類ハ甚シク汚レザル時ニ洗濯スベシ屢々洗
濯スレバ其品質ヲ脆弱ナラシムルト思フ者モ
アレドモ決シテ然ラズ洗濯ヲ怠リテ甚シク汚
穢セシムルキハ啻ニ其衣服ノ腐壞セルノミナラ
ズ之ヲ洗フニ方リ多ク時間ヲ費スベク且洗濯

ノ際痛ク揉擦スルガ故ニ之ヲ度々洗濯スルニ
比スレバ其品質ヲ脆薄ナラシムルヲ却テ大ナ
リトス
洗濯ヲスルニハ其布帛ノ強弱品質色合等ニヨ
リ晴雨ノ如何ヲ考ヘ其品ヲ損ジ其色ヲ變ゼザ
ル様ニスルヲ肝要ナリ又之ヲ曝スニハ先ッ干竿
ヲ能ク拭ヒテ懸ケ風ノ爲ニ吹落サレ或ハ雨ノ
爲ニ濡レザル様ニ注意スベシ
凡ソ衣類ノ洗濯ニ用ヰル水ハ雨水ニ勝ルモノ
ナシ雨水ハ天然ノ蒸溜水ニシテ毫モ混物ナケ

レバ衣類ノ品質ヲ損シ或ハ染色ヲ變ズルコト
ナシ故ニ雨水ヲ用ヰザルトキハ鐵分鹽分泥土
等ノ混入セザル清水ヲ撰ブベシ
衣類ヲ洗濯シタル後チ糊ヲ施スハ其皺ヲ伸ス
ガ爲ナレドモ自ラ又汚洙スルコトヲ遅クシ品
質ヲ損セザルノ益アリ
衣類ニ施スベキ糊ニ數種アリ岩生麩葛粉海蘿
姫糊飯糊是ナリ岩生麩葛粉ハ之ヲ水ニ溶解シ
烹テ用ヰルベシ海蘿ハ水ニ和シ文火ニテ之ヲ
烹絹篩ニテ漉シ用ヰルベシ姫糊ハ水ニテ解キ

之ヲ用キルベシ姫糊ハ容易ク之ヲ製スルコト
ヲ得ベシ其法ハ一夜程白米ヲ水ニ浸シ白ノ類
ニテ之ヲ細末ニシ絹篩ニテ漉シ而シテ後チ之
ヲ烹ルベシ飯糊ハ飯粒ヲ烹熟シテ糜粥ト為シ
綿布ノ袋ニ入レ漉シテ之ヲ用キルベシ

絹布類ニ施ス糊ハ海蘿ヲ用ヒ綿布類ニハ岩生
麩、姫糊、飯糊ヲ用ヒ白地ノ洋服下着或ハ胸掛襟
輪ノ類ニハ葛粉ヲ用キルベシ若シ絹布ニ岩生
麩、姫糊、飯糊ヲ用キルトキハ其品質ヲ脆弱ナラ
シムベシ

凡テ白地ノ布帛ノ垢染タルモノヲ洗フニハ浙
水米水ヲ用キルカ又ハ良製ノ石鹼水ヲ以テ洗
フヲ良トス若シ汚染ノ固着シテ除キ難キトキ
ハ烏瓜ノ根ヲ搾リテ其汁ヲ取り之ヲ温湯ニ和
シテ洗ヘバ能、其故色ニ復スルコトヲ得ベシ又
蘿蔔ノ搾汁ヲ塗り後チ温湯ニテ洗フモヨシト
ス
垢ノ衣類ニ固着シタルヲ急ニ除キ去ントスル
トキハ温灰汁ヲ用キルベシ垢ヲ除却スルコト
速カナリ然レドモ其品質ノ薄弱ナルモノハ冷

灰汁ヲ用ヅルベシ惣テ灰汁ハ能汚垢ヲ除却ス
ルノ効アレドモ數回洗フトキハ其品質ヲ脆弱
ナラシムベシ良製ノ石鹼水ヲ以テ徐々ト洗フ
ノ優レルニ如カザルナリ
凡テ洗濯ニ用ヅル湯ノ温度ハ血温即チ九十五
六度ヲ良シトス熱湯ヲ用ヅルハ惡シ血温ナレ
バ汚垢ヲ除クニ充分ナリトス
洗濯シタル衣類ヲ乾スニ掛干、板貼、張干等アリ
掛干ハ直平ナル竹竿ヲ横架シ之ニ掛ケテ乾ス
モノナリ綿布、毛布ハ之ヲ用ヅルヲ良トス板貼

ハ平板ニ貼付、乾スモノナリ絹布、麻布ハ之ヲ用
ヅルベシ張干ハ簇ヲ用ヅテ張リテ乾スモノナリ
絹布、綿布、麻布共ニ之ヲ用ヅテ可ナリ惣テ乾物
ヲ爲スニハ快晴ニシテ微風アル日ヲ撰ブベシ
陰晴定リナキ時ハ乾物ニ汚點ヲ殘スコトアリ
風強キトキニ於テ乾物ヲ爲スベカラザルハ人
ノ能知ル所ナリ
板貼ヲ爲ストキハ先ヅ貼板ヲ能拂拭シ布ノ横
曲シ或ハ廣狹ノ不同ナキヤウニ貼付スベシ白
地物ナドニハ別シテ拂拭ヲ疎略ニ爲スベカラ

經綉論 卷之二 二十四

ズ乾キテ後チ意外ノ汚痕ヲ生ズルコトアリ
衣類ニ施ス糊ノ利ト利カザルトハ其時ノ季候
ト其日ノ天氣トニヨルベシ故ニ寒暑陰晴ヲ考ヘ
其衣類ノ質ニ應ジ糊ノ加減ヲ為シテ適度ニ施
スコト肝要ナリ且糊ハ凡テ布ノ裏面ヨリ施ス
ベシ

○絹布ヲ洗フ事 絹布ハ一度洗ヘバ必ズ其色
ヲ損スルモノナリ故ニ成ルベク洗ハザルヲ良
トス若シ之ヲ洗ハントスル片ハ能ク其色ト質
トヲ見テ苟モ損傷セザル様注意スベシ○既ニ

色ノ變ジタル絹布ヲ洗フニハ先^{スルマエ}温湯ニ石鹼ヲ
和シテ徐々ト洗ヒ然ル後チ平板ノ上ニ展敷シ
乾キタル布片ヲ以テ之ヲ拭ヒ其裏面ヨリ火熨
斗ヲ掛クベシ都テ火熨斗ヲ用ウル片ハ其絹布
ノ上ニ薄紙又ハ金巾ヲ敷クベシ直ニ之ヲ用ウ
レバ其質ヲ脆弱ナラシムルノ恐レアリ
○洗テ色ノ變ゼザル事 有色ノモノヲ洗フニ
ハ酢又ハ石鹼水ニ檸檬水^{レモン}ヲ混和シテ洗フベシ
其色變ズルヲナシト云フ

○紋形ノ衣ヲ洗フ事 紋形ノ衣服ヲ洗フニハ

其裾ト身トヲ解キ離シテ雨水カ河水ニ塩ヲ一握程入レテ洗フベシ其色變ズルヲ鮮シ又之ヲ乾カスニハ展舒セズ只粗布ニ卷キ能其乾クマデ止メ置キテ後チ火熨斗ヲ用ヅルベシ

○深紅色ノ布ヲ洗フ事 深紅色ノ布ヲ洗フニハ石鹼水ヲ用ヅルベカラズ糠ニ沸湯ヲ注キテ之ヲ漉シ其湯ノ猶ホ熱氣アル時ニ布ヲ浸シ洗ヒ了テ更ニ又温湯ヲ以テ再ビ洗フベシ

○毛布類ヲ洗フ事 毛織品ヲ洗フニハ微温湯ト石鹼トニテ勢ヲ用テ洗ヒ能ク絞リ度々振テ

後チ竿ニ掛ケテ晒乾スベシ又フランケツトノ類ハ火熨斗ニテ毛並ヲ揃フベシ凡テ毛布類ハ濕氣アルマヽニシテ放テ置クベカラズ

○フランホルヲ洗フ事 フランホルハ石鹼ヲ用ヅル微温湯ニテ洗フヲ良トス白キフランホルノ汚垢シテ黄色ヲ帯ビタルモノヲ洗フニハ白石鹼百七十匁^ハ 鹵砂二匁五分ヲ清水六百四十匁ニ溶解シテ洗フベシ然レド此水中ニ永ク浸シ置クハ惡シ故ニ暫時ニ洗ヒテ後チ更ニ浄水ヲ以テ之ヲ濯キ乾スベシ惣シテフランホルヲ

洗フニハ微温湯ニ限ルベシ冷水沸湯ヲ用斗ル
トキハ收縮スルモノナリ

○頭巾ヲ洗フ事 頭巾ノ垢ヲ洗フニハ湯ニ塩
ヲ少シ加フルカ又ハ温^{ウツド}餽ノ湯ニテ洗フベシ

○紫色ノ織物ヲ洗フ事 紫色ノ織物ハ熱湯ト
純粹ノ灰汁ヲ以テ洗フヲ良トス

○襟垢 衣類ノ襟垢ヲ脱サント欲セバ軟餅ヲ
以テ拭フベシ大抵ハ洗濯セズシテ脱ルモノナ
リ又固着シタルモノハ氣發油ヲ布片ニ浸シ垢
ノ上ヲ擦リ而シテ後チ微温湯ニテ之ヲ濯クベ

シ 漆 木 酸ニ捺ハ擦チタルハ蘇膏ノ粉トニ

○酒 衣類ニ酒ヲ濺キタル片ハ其処へ煙草ノ
烟ヲ幾度モ吹掛クベシ少モ其痕ヲ存セズ色ノ

變ズルヲナシト云フ又酒ノ^{點斑}ヲ抜クニハ其
處ヲ豆或ハ豌豆ヲ煮タル水ニ凡ソ半日間浸シ

置キソレヨリ清水ニテ徐々ト洗フベシ又洗濯
曹達ヲ微温湯ニ加ヘ之ニ一時間モ浸シテ洗フ

モ良シトス
○油 衣類ニ油ノ附キタルヲ脱スニハ其處へ
蘿蔔ノ搾汁ヲ塗リテ後チ熱湯ニテ洗フベシ又

其油ノ附キタル所ニテ海蘿ヲ包ミ徐々ト擦揉
シ然ル後チ清水ニテ濯フモヨシ

○澁 衣類ニ澁ノ附キタル片ハ其處へ白砂糖
ヲ擦附シテ後チ能ク洗フベシ

○蠟 衣類疊等ニ蠟ノ點附シタル片ハ熱灰ヲ
紙ニ包ミテ其蠟ノ上ヲ幾回モ壓スベシ一度ニ

テ脱チザル片ハ再三灰ヲ取替フベシ
○脂 煙草ノ脂ノ附キタル片ハ生味噌ヲ水ニ

テ溶キ其汁ニテ洗フベシ
○黏 衣類ニ黏ノ附キタル片ハ蘿蔔ノ搾汁ニ

テ洗フベシ
○ペンキ 衣類ニペンキノ附キタル片ハ石炭

油ヲ布片ニ濕シテ拭フベシ
○血液 血液ニテ汚レタル衣類ハ口ニ水ヲ含

ミ之ヲ吹キ濺キツ、洗フカ又ハ石鹼ニテ洗フ
ベシ又蘭心ヲ口ニ啣ミ吸フモヨシ

○汗ノ斑點 汗ノ爲ニ白ク斑點ヲ生シタルハ
丁寧ニ褶ミ盥盤ニ入レ水ヲ注ギ手ヲ以テ強ク

壓シツ、三四回水ヲ取換へ猶ホ之ヲ壓シテ後
チ清水ニテ洗ヒ敢テ絞ラズシテ水ノ滴ル、マ

マ竿ニ掛ケテ乾晒スベシ

○膿汁 衣類ニ附キタル舊キ膿汁ヲ去ルニハ
浅ク地ヲ堀リ藁席ヲ敷キ其上ニ衣類ヲ載セ又
藁席ヲ以テ之ヲ掩ヒ其上ニ土ヲ置キ凡ソ一時
間ヲ過ギテ之ヲ取出シ烟草ノ莖汁ヲ温湯ニ和
シテ二回程洗ヒ而シテ後チ清水ニテ之ヲ濯キ
乾スベシ烟草ノ莖汁ヲ取ルニハ先ヅ其莖ヲ燃
シ急ニ之ヲ目籠ニ入レ上ヨリ水ヲ灌キ盥ニテ
之ヲ受クベシ

第五章

住居

衣食ト等シク人生ニ必要ナルモノハ住居ナリ
住居ニ種々ノ製作アリ木造、煉瓦造、石造、土藏造
等ナリ市街都邑ノ如キ人家稠密ニシテ屢失火
アル土地ニ於テハ煉瓦造、石造、土藏造ヲ良シト
スト雖モ火山ノ近傍ニテ屢地震スル土地ニ於
テハ木造ノ家屋ニ住居スルヲ良シトス
職業ニヨリテ一概ニ論ジ難シト雖モ日常起卧
スル所ノ便室ハ木造ニ為スヲ宜シトス木造ニ
ハ瓦葺、木片葺、茅葺等アリ木片葺、茅葺ハ輕クシ
テ震災ノ為メニハ安心ナレドモ大風ニハ破損

シ易ク近火ノトキハ火氣ヲ傳ヘ易シ故ニ家屋
ハ木造ノ平家ニシテ瓦葺ヲ撰ブベシ
家屋ヲ求ムルニハ其購フト僦居スルトヲ問ハ
ズ高燥ニシテ濕氣ナキヤ太陽ノ温暖ヲ受ケ空
氣ノ流通宜シキヤ近傍ニ清浄ノ飲水アリテ不
潔ノ場所ナキヤ學校ニ近クシテ兒童ノ通學ニ
便ナリヤ食物ヲ得ルニ易ク近傍醫師ニ乏シカ
ラザルヤ水火ノ災害アルトキハ之ヲ避ルニ便
ナルヤ職業ヲ營ムニ便利ナルヤヲ搜索シ決シ
テ華美ヲ好ムベカラズ要ヤルモノハ計置ナリ

職業ニヨリテハ止コトヲ得ザレドモ水邊又ハ
崖端等ニ住居ヲ定ムベカラズ其眺望ハ佳ナル
ノ便アレドモ水邊ノ家屋ハ水分子常ニ室内ヲ
往来シテ夏時物ノ腐敗スルコト速カナリ又崖
端ノ家屋ハ霖雨大雪震災ノトキ俄ニ崩壊スル
ノ懼レアレバナリ
居室寢室ハ南向ニシテ太陽ノ温暖ヲ受クルヲ
要ス庭ニハ種々ノ草木ヲ樹ヘ四氣ニ花ノ絶ヘ
ザル様ニ為スベシ又所々ニ桃、梅、栗、梨、柿、石榴、葡
萄、橘ノ如キ果樹ヲ雜ユベシ然ルトキハ獨リ心

ヲ慰ムルノ益アルノミナラズ自ラ薪炭衣服食物ノ費ヲ省キ大ニ儉約ノ一助ト為ルナリ
厠ハ住居ノ北方ニ置クベシ南方ニ置クトキハ
夏日南風ノ吹ク時ニ至リ臭氣ヲ室内ニ送ルコ
ト甚タシ冬氣ハ冱寒ニシテ臭氣ヲ發散スルコ
ト少ナケレバ假令烈シキ北風アルトモ臭氣ヲ
室内ニ送ルコト鮮ナシ又厠ハ井戸ニ接近シテ
設クベカラズ汚物井水ニ混入シテ健康ヲ害フ
ベシ今之ヲ試ミント欲セバ井戸ノ近傍ヲ掘リ
テ麝香少許ヲ埋ムベシ數日ニシテ井水麝香ノ

氣ヲ帶グベシ是ヲ以テ汚物ノ浸入スルコトヲ
知ルベシ
書齋モ亦家屋ノ北方ニ構フベシ南方ハ温暖ニ
シテ身體ヲ弛シ思想ヲ凝スニ不便ナリ東方
西方ハ共ニ日光ヲ受ケ眼常ニ炫耀シ為メニ視
力ヲ害フコトアリ浴室庖厨ハ南向キニシテ井
戸或ハ水ニ近キ所ニ設クベシ
煉瓦造石造ノ家屋ニ暖爐ヲ設クルハ危険ナラ
ズト雖モ木造ノ家屋ニハ甚ダ危険ナリ設クベ
カラズ

我國ノ習慣トシテ冬時巨燧ヲ設ケテ暖ヲ取レ
ドモ是ヨリ生ズル所ノ炭酸瓦斯ハ甚ダ健康ニ
害アリ可成之ヲ用ヅザルヲ良トス然レドモ止
ムコトヲ得ズシテ之ヲ用ヅルトキハ時々窓戸
ヲ開キテ此氣ヲ驅除スベシ
濕氣多キ土地ハ勿論假令高燥ノ土地ト雖モ床
ハ成丈ケ高クスベシ床ノ高キ住居ハ床上ノ物
品自ラ濕氣ニ感スルコト薄ク隨テ身體ノ健康
ニ益アリ殊ニ高地ニ住居スルモノハ洪水霖雨
ノ時ニ際シ害ヲ受ルコト鮮ナシ

壁ニ種々アリ土塗、紙貼、板張等ナリ紙貼、板張ハ
其新ラシキ時ハ美觀ナレドモ亦汚染スルコト
速カナリ土塗ハ其白色ヲ除クノ外ハ自ラ汚染
スルコト遲シ通例ノ住居ニハ土塗ヲ用ユベシ
壁ノ色ハ茶色、鼠色、褐色、綠色、水色等ヲ良トス惣
テ白色ハ光線ヲ反射スルコト強ケレバ頗ル眼
目ニ害アリ
倉庫ニ土藏、石藏、煉瓦藏アリ石藏、煉瓦藏ハ一回
大火ニ遇フトキハ脆クシテ破壊シ易ク其質ニ
ヨリテハ再ビ用ヒ難シ土藏ハ數回火ニ遇フト

雖モ其表面ヲ修補スルトキハ少シモ故形ヲ損スルコトナシ

藪席ハ時々其裏面ヲ日光ニ暴ラシ其濕氣ト塵埃トヲ除ルベシ床上ニハ水ニ溶解シタル石炭酸ヲ撒敷シ其乾クヲ待ツテ舊ニ復スベシ然ルトキハ小虫ノ生殖ヲ防ギ夏日ニ至リ蚤ノ憂ハ鮮ナシ然レドモ表面ノ新シキ藪席ハ直チニ太陽ノ光線ニ曝スベカラズ日蔭ニ置キテ表裏トモ空氣ニ觸レシムベシ

家屋ハ購求スベキカ將タ就居スベキカ吾人ノ

最モ注意熟考スベキ所ナリ夫レ一家ヲ所有スルニ足ルノ資力アルニ至リ家屋ヲ購求スルハ實ニ一大快樂ニシテ且家計ノ幾分ヲ節減スルコトヲ得ベシト雖モ中等以下ノ財産ヲ有スル人ハ一朝不虞ノ災厄ニ罹ル片ハ一家為メニ破産スルヲナキニ非ズ故ニ此等ノ人ハ家屋ヲ購フノ金ヲ以テ職業ノ資本ト為シ猶家産ヲ増殖シ假令災厄ニ罹ルトモ破産スルノ憂ナキニ至テ家屋ヲ購求スベシ然ルニ世人往々家屋ノ購求ヲ先ニシ其資産ノ如何ヲ顧ミズシテ慢リニ

家屋ヲ購フニヨリ家屋已ニ成ルモ資産已ニ盡
キ困迫窮乏スルニ至リテ忽チ他ニ轉賣セザル
ヲ得ズ為メニ意外ノ損失ヲ醸スコトアリ一家
ヲ營ムモノ宜シク之ヲ慎ムベシ然レトモ其職
業ニヨリテハ家屋モ亦資本ノ一ニシテ勢ヒ購
ハザルヲ得ザルコトアリ其資産ノ多寡ニ應ジ
テ之ヲ購フベシ
惣テ居室ハ清潔ニシテ空氣ノ流通ヲ快通ナラ
シムルヲ要ス殊ニ人家稠密ノ土地ノ住居ハ所
々ニ窓ヲ開クベシ又廁ハ勉メテ清潔ニスベシ

病根ハ多ク廁ノ不潔ヨリ生ズルナリ故ニ若シ
惡臭甚シキトキハ綠礬ヲ水ニテ溶解シ之ヲ撒
布スベシ平日ハ樟腦ヲ紙ニ包ミテ廁中ニ吊シ
置クヲ良トス
不潔汚穢ナル氣ノ室内ニ籠ル片ハ大ニ健康ヲ
害スベシ故ニ毎日時ヲ定メテ盡ク窓ヲ開キ不
潔汚穢ノ氣ヲ去リ新鮮ノ空氣ト更換スベシ又
室内ニ於テ火ヲ燃スモ空氣ノ流通ヲ快盛ニシ
室内ナル不潔汚穢ノ氣ヲ散去セシムルト云フ
室内ニ新鮮ノ空氣ヲ流通セシムルヲハ獨リ人

生ノ健康ニ大功アルノミナラス自ラ室内ヲ乾
燥ニスルノ利アリ凡ソ新壁、新材、木等ハ濕氣ヲ
生ジ易シ、什器壁面ニ黴ヲ生ジ、衣服、澣物ニ汚斑ヲ
發スルハ是其證ニシテ是ガ為メ疾病ヲ醸スニ
至ルコトアリ故ニ新築ノ家屋ニ移ル片ハ度々
窓ヲ開キ、塩酸エシサ加爾幾カルキ或ハ硫酸リサ古羅爾コラル加爾幾カルキノ
溶液ヲ器ニ盛リテ之ヲ室ノ隅ニ置クベシ
家屋ヲ永久堅固ニナサント欲セバ假令少シノ
損所ナリトモ即時ニ之ヲ修補スベシ、雨漏ハ最
モ注意スベシ、小ナリトシテ等閑ニ過ル片ハ漸

次大破トナリ終ニ復ビ修補スルコト能ハザル
ニ至ルベシ

第六章 什器

什器ハ一家ヲ營ムニ缺クベカラザルモノナリ
其品ハ千種萬類ニシテ枚舉スルニ遑アラズト
雖モ今日用適切ノ器具ヲ掲ゲ旁ラ家人ノ注意
スベキ事柄ヲ記サントス
日用適切ノ器具ニ種々アリ之ヲ大別スレバ飲
食ノ用ニ供スルモノ、寒暑濕熱ヲ防クノ用ニ供
スルモノ、物品ヲ保藏スル用ニ供スルモノ、家事

ヲ理ムル用ニ供スルモノ等ナリ此等ハ何ノ職業ニ抱ハラズ必ズ一家ニ備フベキモノナリ凡ソ家具ヲ購フニハ其用ノ便不便ヲ考ヘ其品質ノ良否ヲ撰フヲ肝要トス若シ模様、形状、廉價等ヲ主トスルトキハ或ハ不便ニシテ用ヲ欠キ或ハ堅固ナラスシテ破損シ易ク却テ儉約ニ為ラザルコトアリ

飲食ノ用ニ供スル器具ハ竈、水瓶、鍋、釜、米櫃、膳、椀、皿、鉢ノ類ヲ云フ惣テ器具ハ世間通常ノ品ヲ用ユルヲ良トスト雖モ殊ニ飲食ノ器具ハ奇異ニ

シテ他ニ類ナキ器物ヲ求ムベカラズ唯其用ニ足ルヲ以テ足レリト為スベシ竈ハ必ズ二ツ連続セシモノヲ良トス如何トナレバ一時ニ二物ヲ調理スルコトヲ得ベク且ツ燃ヘタル薪木ヲ双方ニ加減スルコトヲ得ルヲ以テ自ラ薪木ヲ費スコト少ナシ又一方ニ損所ヲ生ズルトモ直チニ其一方ヲ使用シ得ルノ便アリ殊ニ銅壺ヲ附シタルモノハ別ニ薪ヲ要セズ餘熱ヲ以テ温湯ヲ得ルハ能ク人ノ知ル所ナリ

鍋釜ニ銅製、真鍮製等アレドモ用ユベカラズ必
ズ鐵製カ土製ヲ用ユベシ其他茶碗、皿ノ類ニ至
ルマデ硝子製カ陶器ヲ用ユベシ惣テ銅器、真鍮
ノ器ハ人ニ最モ有害ナル綠青ヲ生ジ之ヲ食物
ニ混ズルヲ以テ為メニ病ヲ醸スコトアルベシ
若シ速ク食物ヲ煮熟センガ為メ銅製、真鍮製ノ
鍋類ヲ用ヰントスルトキハ厚ク鍍錫シタルモ
ノヲ撰ビ剝落セシトキハ復ビ之ヲ施スベシ
鐵器ハ人身ノ為メニ害ナシト雖モ新ラシキモ
ハハ食物ニ黒色ヲ帶バシムルガ故ニ十分ニ其

錆ヲ除リテ後チ之ヲ用ユベシ
錆ヲ除ルニ種々ノ法アリ蕎麥粉或ハ山梔子
或ハ菠薐菜ヲ入レテ之ヲ煮ルベシ但鐵瓶等ノ
外部ニ蕎麥湯等ヲ濺クベカラズ大ニ光澤ヲ失
フコトアリ
水瓶ニ代用スルニ桶或ハ樽ノ類ヲ以テスルモ
ノアレドモ水自ラ腐敗シ易ク又惡キ臭氣ヲ起
スコトアリ用ユベカラズ○米櫃ハ夏日ハ別シ
テ屢掃除シテ日光ニテ乾スベシ然ラザレバ惡
シキ臭氣ヲ發シ小虫ヲ生ズベシ

米櫃ヲ使用スルニハ糠ヲ留ムベカラズ若シ之ヲ急ルトキハ糠ノ分子米櫃ノ木理ニ固着シテ急ニ除キ難キニ至ルベシ又新シキ精米ヲ納レントスルトキハ殘米及ビ糠ヲ除キ去リ能ク空氣ニ觸レシメテ後チ之ヲ納ルベシ又一櫃中ニ古精米ト新精米トヲ儲ントスルトキハ柿油紙ノ袋ニ入レ之ヲ區別スベシ硝子罌陶罌類ノ脆弱ヲ防ガンニハ釜ニ水ヲ盛リ食塩少許ヲ加ヘ罌ヲ其中ニ納レ緩火ヲ以テ徐々ト之ヲ煮ルベシ大ニ其實ヲ鈍クシテ容易

ニ破損セザルベシ茶碗小碟ノ類ヲ保存シ置クニハ十組或ハ二十組ヲ區別シ一々紙ニテ之ヲ包ミ重ネテ之ヲ箱ニ納レ置クベシ防鼠厨等ノ抽斗ニ納レ置クトキハ他ニ移サントスルトキ不便ナルノミナラズ近火ノ際急カニ運搬シ難シ食膳漆碗漆盆笥盤盒ノ類ハ軟キ紙ニ包ミ置クベシ假令過ツテ相觸ルトモ疵ツクコトナシ殊ニ蔘繪等ニテ疵ツキ易キモノハ軟カキ木綿ニテ之ヲ包ミ箱ニ納レ置クベシ

經濟論 卷之一
陶器類ニ茶澁等ノ固着シタルヲ除キ去ントス
ルニハ灰汁ニテ徐々ト之ヲ煮タル後チ其湯ニ
テ尚^ホ之ヲ洗フベシ又生灰ヲ水ニ和シワラタワシ藁苕帚或
ハ布片ニテ之ヲ洗フモ良シトス
漆器ノ臭氣ヲ除ルニハ米泔ヲ微温ニシテ數回
之ヲ注キ或ハ數日精米ノ中ニ挿入シ置クカ又
ハ豆滓ニテ之ヲ洗フベシ又紙等ニテ之ヲ包マ
ズ其現物ヲ露出シ風入りノ善キ坐隅ノ坐上ニ
置キ數日間空氣ニ觸レシムルトキハ自ラ其臭
氣ヲ除ルナリ

象牙ニテ製シタル箸ノ茶色ヲ帯ビタルモノヲ
古色ニ復セントスルニハ輕浮石ノ粉ヲ水ニ和
シテ之ヲ洗ヒタル後チ硝子片ヲ其上ニ蔽ヒ大
陽ニ照スベシ
漆器ハ湯水ニ浸スベカラズ乾キタル絹布ニテ
濕氣ノ全ク去ルマデ之ヲ拭フベシ長ク水ニ浸
ストキハ或ハ剝落シ或ハ離解スルコトアリ注
意スベシ
飯桶、水盥、手桶ノ類ハ能ク水氣ヲ拭ヒ風ニ當テ
テ之ヲ乾スベシ若シ大陽ニ照シ又ハ火ニテ乾

ストキハ或ハ之ヲ破壊シ或ハ之ヲ焦スノ恐レ
アリ
土瓶或ハ鐵瓶ニ湯垢ノ付キタルヲ除クニハ通
常ノ曹達少許ヲ其中ニ納レ火熱ヲ以テ沸騰セ
シメタル後チ火ヲ去リテ其儘一晝夜置キテ綿
密ニ之ヲ洗フベシ
簞笥長持書筐ノ木質ニハ種々アレドモ桐材ヲ
以テ造リタルモノヲ第一トス桐材ハ輕クシテ
濕氣ヲ防クノ効アリニハ殊特ニハ保水ニ味
簞笥ハ重ネタルモノヲ良シトス書筐ハ數箇連

續セザルモノヲ撰フベシ然ルトキハ近火或ハ
移轉等ノトキ運搬スルニ便利ナリ且此等ノ器
具ハ時々風ニ觸レシメテ濕氣ヲ除ルベシ又絹
ノ布片ヲ以テ數回之ヲ拭フベシ決シテ濡レタ
ル木綿布等ニテ之ヲ拭フベカラズ
竹戸、葎戸ヲ保存スルニハ能ク其塵埃ヲ去リ充
分ニ風ニ觸レシメ而シテ柿油紙ニ包ミ樟腦ヲ
碎キテ細末トナシ之ヲ散布シ置クベシ小虫ヲ
生ゼザルナリ
地氈、數枚ヲ求ムルニハ其色ノ同シキモノヲ求

ムベシ同色ノモノハ廣キ坐席ニ展ルコトアル
トキハ一色ニシテ一ノ觀ヲ添フベシ又裱牆ノ
地紙ハ風致ヲ好ミ奇異ニシテ類寡キモノヲ撰
バズ容易ニ求メ得ベキモノヲ撰ムベシ若シ過
テ破損スルトモ直チニ舊様ニ復スルコトヲ得
レバナリ
地氈薄縁ノ類ハ時々其塵埃ヲ拂ヒ一ケ年ニ一
回ハ必ズ之ヲ洗濯シ風ニ觸レシメテ之ヲ乾ス
ベシ如斯ナルトキハ其質ヲシテ脆弱ナラシメ
ズ永ク保ツコトヲ得ベシ敷紙ト寢席ハ毎日大

陽ニ照シ寢席ノ汚塵ヲ除ルニハ酢ヲ湯ニ和シ
布片ニ浸シ能ク之ヲ絞リカヲ極メテ拭フベシ
裱牆紙ノ汚塵ヲ除ルニハ極メテ柔キ麵包ノ一
端ヲ切り其切口ニテ徐カニ其上ヲ擦ルベシ而
シテ汚塵ノ麵包面ニ附着シタルトキハ薄ク其
口ヲ切り去ルベシ
引窓及ビ明ヲ引ク窓ノ障子ニハ玻璃板ヲ挿入
スベシ明ルクシテ屢貼リ換ルノ勞ヲ省クベシ
又之ヲ磨クニハ燒酎ヲ布片ニ浸シテ拭フベシ
行燈ハ殊ニ清潔ニシテ油皿ニ焦ケ付タル油ヲ

除キ去ルベシ紙ハ未ダ損セザルモ日數ヲ經レバ
之ヲ貼リ換ユルヲ良トス否ラザレバ暗クシテ
不經濟ナリ菜種油ハ充分ニ盛り太キ藺心ノ一
二箇ヲ用ユベシ油ヲ吝ミテ少シク盛り細キ藺
心ヲ數箇合セ用ユルトキハ却テ油ヲ費スコト
多カルベシ
玻璃燈ハ日々之ヲ掃除シ心ノ燃ヘタル上端ヲ
剪リ去ルベシ又其内部ヲ洗フニハ温湯ト眞珠
灰トヲ和シテ之ニ灑ギ布片等ニテ之ヲ拭ヒ能
ク乾カシタル後チ油ヲ注クベシ又火屋ハ殊ニ

水氣ノ残ラザル様ニ注意シ全ク水氣ノ盡キタ
ルヲ見テ後チ火ヲ點スベシ若シ水氣アルトキ
ハ爆然破裂スルコトアリ其土ヲ去リ
金銀ノ花瓶或ハ銚子盃等ヲ用キタルトキハ乾
キタル布片ヲ以テ能ク之ヲ拭ヒ而シテノチ之
ヲ納ムベシ又曇リ或ハ汚點ヲ除クニハ湯ニテ
之ヲ煮然ル後チ布片、軟革、海綿等ニテ徐々ト之
ヲ洗フベシ麤造ナル磨粉ニテ洗フトキハ其表
面ニ微疵ヲ残スベシ
日本傘、蝙蝠傘トモ用キテ濡シタルトキハ能ク

水氣ヲ拭ヒ去リ日蔭ニ於テ之ヲ乾スベシ若シ
 之ヲ急ルトキハ日本傘ハ忽チ黒色ヲ帯ビ骨竹
 ニ小虫ヲ生ジ蝙蝠傘ハ其地質ヲ脆弱ナラシム
 ベシ
 蝙蝠傘ハ雨天ニ用ヅルモノト晴天ニ用ヅルモノ
 ノトヲ別チ置クベシ晴雨交々用ヅルトキハ之
 ヲ損スルコト甚ダ速カナリ
 靴ヲ用ヅタルトキハ必ズ其土ヲ去リ靴墨ヲ塗
 リ置クベシ之ヲ放棄スルトキハ特リ外見ノ惡
 キノミナラズ或ハ曲リヲ生シ穿チタルトキ甚

ダ快カラズ足駄ノ類モ泥土ニ汚レタルトキハ
 先ッ鼻緒ヲ脱シテ能ク其臺ヲ洗ヒ乾シタル後チ
 鼻緒ヲ舊ニ復スベシ鼻緒ヲ水ニ浸ストキハ永
 ク保タザルナリ

家事經濟論卷之一終

總論 第一

改正教科書概目

東京濱町二丁目

同盟舎發兌

家事經濟訓

青木輔清編 全二冊

小博物階梯 訂正

須川賢久編 全四冊

小學博物指教

同 全二冊

改博物階梯

同 全三冊

片仮名文 小學外史

同 全五冊

小學生理訓蒙

宇田川準一編 全二冊

初等科 中等科 高等科 作文法

同 每科二冊

修身教範 人倫の務

水野常裕編 全二冊

小學作文類纂

同 全一冊

漢外史攬要

岩崎恒義編 全五冊

漢文日本略史

藤田久道編 全三冊

小作文五百題

安井乙熊編 全四冊

漢文內國史略

同 全五冊

日本庶物示教

芳川修平編 全三冊

漢上 歷代 十八史略

元明清 同 全七冊

簿記學撮要

鈴木五郎著 單記二冊 復記冊 井上哲次郎譯

家支經濟論

同 全二冊

心理新說

井上哲次郎譯 全四冊 近刻

